

鬼石病院事業会計

平成30年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算審査意見書
第1 審査の対象**(1) 決算書**

平成30年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業決算報告書

同 損益計算書

同 剰余金計算書

同 欠損金処理計算書(案)

同 貸借対照表

同 キャッシュ・フロー計算書

(2) 決算付属書類

平成30年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業報告書

平成30年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計収益費用明細書

同 資本的収入支出明細書

同 固定資産明細書

同 企業債明細書

第2 審査の期間

令和元年6月17日から同年8月8日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から提出された決算書及び決算付属書類が、関係法令の規定に従い作成されているか、また事業の財政状況及び経営成績を適正に表示しているかを検証するため、総勘定元帳をはじめ関係諸帳簿及び証拠書類等の照合確認のほか、貯蔵品については棚卸に立合い、確認をした。

次に、経営内容を把握するため計数の確認分析を行い、事業運営が地方公営企業法第3条の趣旨に従ってなされているかを主眼に審査を行い、必要に応じて担当職員の説明を聴取した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書及び財務諸表は、地方公営企業法及び関係法令の定めるところにより作成されており、この会計処理については、公営企業会計の原則に準拠して行われ、その計数は正確であり、関係諸帳簿と一致している。

事業の経営成績及び財政状況は適正に表示されているものと認めた。

なお、現金の年度末残高は病院事業出納取扱金融機関の預金残高と一致していた。

病院事業

第5 審査の概要

1 業務状況

(1) 病床利用状況

区 分	一般病床	療養病床	平成30年度	平成29年度
許可病床数(床)	52	47	99	99
年間許可病床数(床)	18,980	17,155	36,135	36,135
延患者数(人)	17,665	14,866	32,531	31,238
1日平均患者数(人)	48.4	40.7	89.1	85.6
病床利用率(%)	93.1	86.7	90.0	86.4

平成30年度における延許可病床数は36,135床で、延患者数は32,531人である。

(2) 患者数及び料金収益

(消費税抜)

区 分		平成30年度	平成29年度	増 減	増減率	
入	患者数 (人)	延 患 者 数	32,531	31,238	1,293	4.1
		1日平均患者数	89.1	85.6	3.5	4.1
院	料金収入 (円)	総 額	841,186,919	756,459,941	84,726,978	11.2
		1人1日平均	25,858	24,216	1,642	6.8
外	患者数 (人)	延 患 者 数	21,214	22,149	△ 935	△ 4.2
		1日平均患者数	72.7	75.3	△ 2.6	△ 3.5
来	料金収入 (円)	総 額	141,347,751	139,838,827	1,508,924	1.1
		1人1日平均	6,663	6,314	349	5.5

平成30年度における入院患者数は32,531人で、前年度と比較して1,293人(4.1%)増加している。また、年間外来患者数は21,214人で、前年度と比較して935人(4.2%)減少し、一日平均では2.6人の減少となっている。

料金収入は、入院では841,186,919円で、前年度と比較して84,726,978円(11.2%)増加した。また、外来については141,347,751円で、前年度と比較して1,508,924円(1.1%)の増加となっている。

なお、過去3年間の病院業務の概要は別表1のとおりである。

2 決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
医 業 収 益	979,515,000	1,008,900,950	29,385,950	103.0
医 業 外 収 益	167,844,000	169,333,421	1,489,421	100.9
特 別 利 益	2,000	0	△ 2,000	0
訪問看護ステーション収益	24,394,000	24,510,850	116,850	100.5
計	1,171,755,000	1,202,745,221	30,990,221	102.6

病院事業収益の決算額は1,202,745,221円で、予算額1,171,755,000円に対して102.6%の収入率であり、前年度決算額1,137,116,760円と比較して65,628,461円(5.8%)の増加となっている。

収入内訳は、医業収益1,008,900,950円、医業外収益169,333,421円、訪問看護ステーション収益24,510,850円となっている。

支 出

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
医 業 費 用	1,153,073,000	1,147,208,968	0	5,864,032	99.5
医 業 外 費 用	21,229,000	19,699,676	0	1,529,324	92.8
特 別 損 失	502,000	0	0	502,000	0
訪問看護ステーション費用	35,903,000	33,998,547	0	1,904,453	94.7
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0
計	1,211,707,000	1,200,907,191	0	10,799,809	99.1

病院事業費用の決算額は1,200,907,191円で、予算額1,211,707,000円に対して99.1%の執行率であり、前年度決算額1,196,216,410円と比較して4,690,781円(0.4%)の増加となっている。

病院事業収益決算額1,202,745,221円(うち仮受消費税及び地方消費税2,352,350円)に対し、病院事業費用決算額は1,200,907,191円(うち仮払消費税及び地方消費税20,204,864円)で、当期決算の収支差額(収入-支出)は1,838,030円であり、前年度の△59,099,650円と比較すると、60,937,680円の増加となっている。主な理由は入院収益の増加によるものである。

なお、詳細については、病院事業会計予算決算対照表(別表2)のとおりである。

病院事業

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
企 業 債	27,700,000	27,700,000	0	100.0
他 会 計 補 助 金	71,014,000	71,014,111	111	100.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0
計	98,715,000	98,714,111	△ 889	100.0

資本的収入の決算額は98,714,111円で、予算額98,715,000円に対して100.0%の収入率であり、前年度決算額69,255,682円と比較して29,458,429円(42.5%)の増加となっている。収入のうち、他会計補助金は一般会計からの繰出金で企業債償還元金分等である。

支 出

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
建 設 改 良 費	59,917,000	56,915,568	0	3,001,432	95.0
企 業 債 償 還 金	67,718,000	67,717,774	0	226	100.0
計	127,635,000	124,633,342	0	3,001,658	97.6

資本的支出の決算額は124,633,342円で、予算額127,635,000円に対して97.6%の執行率であり、前年度決算額96,025,553円と比較して28,607,789円(29.8%)の増加となっている。

また、当年度に実施された建設改良費は、器械備品購入費51,430,000円、リース債務支払費1,371,168円等である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額25,919,231円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額103,527円と過年度分損益勘定留保資金25,815,704円で補っている。

3 損益計算書

(1) 経営状況

当年度の経営実績は、事業収益が1,200,880,414円と対前年度5.8%増加したのに対し、事業費用も1,199,234,631円と対前年度0.4%の増加となり、差し引き1,645,783円の純利益を計上している。公営企業の収支内容を示す総収支比率(別表5)は、100.1%で前年度と比較して5.1ポイント上昇している。

また、経営状態を示す医業収支比率(別表5)は、89.3%で前年度と比較して8.6ポイント上昇した。

なお、経営状況は損益計算書前年度比較表(別表3)のとおりである。

主要科目の状況を前年度と比較すると次表のとおりである。

収益費用の前年度比較表 (単位:円・%) 消費税抜き

区 分	平成30年度	平成29年度	増 減 額	増減率
(事業収益)	1,200,880,414	1,135,479,388	65,401,026	5.8
医 業 収 益	1,006,948,243	918,168,293	88,779,950	9.7
医 業 外 収 益	169,509,464	192,583,252	△ 23,073,788	△ 12.0
訪問看護ステーション収益	24,422,707	24,727,843	△ 305,136	△ 1.2
特 別 利 益	0	0	0	0
(事業費用)	1,199,234,631	1,194,712,698	4,521,933	0.4
医 業 費 用	1,127,122,861	1,137,342,592	△ 10,219,731	△ 0.9
医 業 外 費 用	38,228,716	37,224,514	1,004,202	2.7
訪問看護ステーション費用	33,883,054	20,145,592	13,737,462	68.2
特 別 損 失	0	0	0	0
純利益(△純損失)	1,645,783	△ 59,233,310	60,879,093	△ 102.8

(2) 事業収益

事業収益のうち医業収益は、前年度と比較して88,779,950円(9.7%)増加している。これは入院患者数の増加により入院収益が84,726,978円(11.2%)増加したことが主な要因である。

(3) 事業費用

事業費用のうち医業費用は、前年度と比較して10,219,731円(0.9%)減少している。入院患者数の増加に伴い、材料費が前年比7,870,855円(7.4%)の増加、経費も前年比8,141,455円(4.8%)増加したが、給与費が23,843,369円(3.0%)の減少となったことが主な理由である。

医業外費用は、前年度比1,004,202円(2.7%)の増加となっている。内訳としては支払利息及び企業債取扱諸費が2,192,820円(16.7%)減少、患者外給食材料費が7,200円(21.4%)増加、消費税非課税売上分等の雑支出が3,189,822円(13.3%)増加した。

4 剰余金計算書

利益剰余金は、前年度からの繰越欠損金1,059,790,552円と当年度純利益1,645,783円を合計した1,058,144,769円が当年度未処理欠損金として計上されている。

資本剰余金は、受贈財産評価額13,733,300円、寄附金500,000円、国県補助金485,000円、他会計補助金・他会計負担金5,896,936円(前年度末残高4,670,825円、当年度発生高1,226,111円)を合わせた20,615,236円が計上されている。

資本合計は414,859,820円から417,731,714円に増加した。

5 欠損金処理計算書(案)

当年度未処理欠損金1,058,144,769円については、全額を翌年度繰越欠損金として計上している。

6 貸借対照表

財政状況の前年度比較表

(単位:円・%)

区 分		平成30年度	平成29年度	増 減 額	増減率	
資 産	固定資産	1,004,291,699	1,019,937,782	△ 15,646,083	△ 1.5	
	流動資産	518,276,804	499,252,716	19,024,088	3.8	
	合 計	1,522,568,503	1,519,190,498	3,378,005	0.2	
負 債 ・ 資 本	負 債	固定負債	791,097,645	783,612,591	7,485,054	1.0
		流動負債	144,658,848	194,354,568	△ 49,695,720	△ 25.6
		繰延収益	169,080,296	126,363,519	42,716,777	33.8
		計	1,104,836,789	1,104,330,678	506,111	0.0
	資 本	資本金	1,448,761,247	1,448,761,247	0	0
		剰余金 (△欠損金)	△ 1,031,029,533	△ 1,033,901,427	2,871,894	△ 0.3
		計	417,731,714	414,859,820	2,871,894	0.7
	合 計	1,522,568,503	1,519,190,498	3,378,005	0.2	

(1) 資 産

当年度末の資産合計は1,522,568,503円で、前年度と比較して3,378,005円(0.2%)増加している。固定資産は1,004,291,699円で、前年度と比較して15,646,083円(1.5%)の減少、流動資産は518,276,804円で、前年度と比較して19,024,088円(3.8%)増加している。

(2) 負 債

当年度末の負債合計は1,104,836,789円で、前年度と比較してもほぼ同額である。固定負債は791,097,645円で、前年度と比較して7,485,054円(1.0%)の増加、流動負債は144,658,848円で、前年度と比較して49,695,720円(25.6%)の減少である。また、繰延収益は169,080,296円で、前年度と比較して42,716,777円(33.8%)の増加である。

(3) 資 本

当年度末の資本合計は417,731,714円で、前年度と比較して2,871,894円(0.7%)の増加、資本金は1,448,761,247円で、前年度と同額である。また、欠損金は1,031,029,533円で、前年度と比較して2,871,894円(0.3%)減少している。

なお、詳細は、別表4のとおりである。

病院事業

7 企業債の償還

平成30年度における企業債償還状況と、入院外来収益に対する償還比率の推移を示すと次表のとおりである。

企業債償還状況と償還比率表

(単位：円・%)

年度	入院外来収益 (A)	企業債元利償還金			未償還残高	償還比率
		元 金	利 息	計(B)		
20	911,707,391	26,903,526	28,272,798	55,176,324	907,760,552	6.1
21	928,386,127	27,438,928	27,110,315	54,549,243	908,521,624	5.9
22	936,586,987	40,726,270	25,962,762	66,689,032	875,095,354	7.1
23	867,669,589	57,889,393	24,474,371	82,363,764	819,905,961	9.5
24	847,397,146	60,039,498	22,727,523	82,767,021	766,366,463	9.8
25	874,959,017	60,980,953	20,914,689	81,895,642	723,185,510	9.4
26	888,652,508	59,793,542	19,071,781	78,865,323	663,391,968	8.9
27	898,754,461	59,052,254	17,134,456	76,186,710	615,139,714	8.5
28	820,754,652	59,216,257	15,135,409	74,351,666	571,223,457	9.1
29	896,298,768	63,327,980	13,041,145	76,369,125	520,795,477	8.5
30	982,534,670	67,717,774	10,848,325	78,566,099	480,777,703	8.0

(注) 償還比率は $B/A \times 100$

上表で示すとおり、当年度における企業債元利償還金は78,566,099円で、前年度と比較して2,196,974円(2.9%)増加している。

また、入院外来収益に対する企業債元利償還金は8.0%で、前年度と比較して0.5ポイント低下した。

8 むすび

平成30年度の鬼石病院の年間延患者数は、入院患者32,531人、外来患者21,214人で、前年度と比較し入院患者数が1,293人増加、外来患者数が935人減少した。

また、病床利用率については、平成22年度までは95%以上の高水準を維持してきたが、平成23年度から低下傾向となり、平成28年度には80.9%まで低下したものの、平成29年度は86.4%、平成30年度は90.0%と回復のきざしをみせている。

地域別の患者構成を見ると、入院患者は鬼石地区が28.4%、藤岡地区が34.1%、その他県内（神流町、上野村等）が11.8%、県外（近接する埼玉県神川町等）が25.7%となっている。また、外来患者は、鬼石地区59.5%、藤岡地区6.2%、その他県内3.1%、県外31.2%であり、地域医療の中核的な役割を担っている。

経営状況について見ると、平成20年度から欠損金が生じている中で、今年度の損益勘定収支は事業収益1,200,880,414円に対し、事業費用1,199,234,631円となっており、差し引き1,645,783円の純利益を計上している。これは、平成28年度に地域連携室を設置したことによる入院患者数の増加で入院収益は前年対比11.2%増収となり、また外来収益では患者数は減少しているが、診療報酬の改定等により前年対比1.1%の増収となった。当年度純利益と前年度からの繰越欠損金1,059,790,552円を合計した1,058,144,769円が当年度未処理欠損金として計上され、全額が翌年度繰越欠損金として処理されている。

経営指標の一つである医業収支比率（医業収益／医業費用×100）を見ると平成21年度91.9%であったものが、平成28年度には77.9%まで悪化したが、平成29年度は80.7%と2.8ポイント改善され、平成30年度は89.3%で8.6ポイント上昇している。総収支比率（総収益／総費用×100）でも、平成30年度は100.1%であり、前年度の95.0%に比べであり、5.1ポイント改善されている。主な原因は入院収益及び外来収益の増額によるものである。

キャッシュ・フロー計算書によると、業務活動によるキャッシュ・フローは54,389,569円、投資活動によるものは18,314,511円、財務活動によるものは△40,017,774円であり、現金及び現金同等物の期末残高は311,638,284円となり、期首と比較すると、当期は1,645,783円の純利益計上により32,686,306円の増となっている。しかし、経営状況は依然として厳しい状況にあると考えられる（別表5）。

地域の人口減少、高齢化、診療報酬改定など病院経営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、経営悪化の大きな要因は医師の不足である。今年度は、「地域包括ケア病棟入院料」を取り入れたことで安定した入院単価が得られたこと等により、入院収益で前年比11.2%の増収を達成した。しかし、医師不足が解消された訳ではなく、今後も喫緊の課題として医師の確保に努力されたい。

平成28年度に作成された新藤岡市国民健康保険鬼石病院改革プランに基づき、より抜本的な経営改革を図り、地域の中核病院として、住民が健康で安心して生活できる良質な医療が安定的に提供されるよう強く望むものである。

別 表

病院業務の概要

別表 1

①職員体制の推移

人

職 種	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	年度末職員数	比較	嘱託・パート	年度末職員数	比較	嘱託・パート	年度末職員数	比較	嘱託・パート
医 師	3	0	2	3	0	2	3	△ 2	1
看 護 師	38	3	3	35	2	4	33	△ 1	2
准 看 護 師	16	△ 4	4	20	△ 2	3	22	△ 1	4
薬 剤 師	3	3	1	0	△ 3	2	3	0	0
診療放射線技師	2	0	1	2	0	1	2	0	1
臨床検査技師	3	1	1	2	0	1	2	0	1
理学療法士・作業療法士 ・言語聴覚士	10	0	0	10	0	0	10	0	0
視能訓練士	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士	2	0	0	2	1	0	1	0	0
事務職員	10	0	2	10	1	1	9	0	1
介護員・看護助手	9	3	9	6	△ 1	9	7	0	7
計	96	6	23	90	△ 2	23	92	△ 4	17

②入院患者数の推移

人

区 分	平成30年度		平成29年度		平成28年度		
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	
一 般	内 科	5,427	△ 1,742	7,169	△ 797	7,966	△ 789
	外 科	12,238	2,607	9,631	2,518	7,113	△ 276
	眼 科	0	0	0	0	0	△ 36
一般病床 計	17,665	865	16,800	1,721	15,079	△ 1,101	
療養病床 計	14,866	428	14,438	295	14,143	△ 43	
合計	32,531	1,293	31,238	2,016	29,222	△ 1,144	

③病床利用率の推移

%

区 分	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	病床利用率	比較	病床利用率	比較	病床利用率	比較
一般病床	93.1	4.6	88.5	9.1	79.4	△ 5.6
療養病床	86.7	2.5	84.2	1.8	82.4	△ 0.1
計	90.0	3.6	86.4	5.5	80.9	△ 2.9

④外来患者数の推移

人

区 分	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較
内 科	12,707	△ 1,373	14,080	△ 1,206	15,286	△ 1,765
外 科	6,037	491	5,546	682	4,864	△ 2,035
整形外科	1,688	△ 127	1,815	132	1,683	△ 364
眼 科	602	16	586	9	577	△ 2,209
皮膚科	180	58	122	122	0	0
計	21,214	△ 935	22,149	△ 261	22,410	△ 6,373

⑤地域別患者数の推移

人

入 院 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
平成28年度	9,225	6,256	15,481	5,888	7,853	29,222
平成29年度	10,390	8,825	19,215	3,798	8,225	31,238
平成30年度	9,247	11,091	20,338	3,832	8,361	32,531
地区別割合(3カ年平均)	31.0%	28.1%	59.2%	14.5%	26.3%	100.0%
外 来 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
平成28年度	13,292	1,163	14,455	765	7,190	22,410
平成29年度	13,077	1,208	14,285	794	7,070	22,149
平成30年度	12,628	1,316	13,944	654	6,616	21,214
地区別割合(3カ年平均)	59.3%	5.6%	64.9%	3.4%	31.7%	100.0%

別表1(続き)

(消費税抜き)(単位:円)

科目		平成30年度		平成29年度		平成28年度		
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	
医業収益	入院収益	841,186,919	70.1	756,459,941	66.6	679,772,196	64.6	
	外来収益	141,347,751	11.8	139,838,827	12.3	140,982,456	13.4	
	その他医業収益	24,413,573	2.0	21,869,525	2.0	21,466,539	2.0	
	計	1,006,948,243	83.9	918,168,293	80.9	842,221,191	80.0	
医業費用	給与費	766,703,018	63.9	790,546,387	66.2	759,043,164	66.7	
	材料費	薬品費	47,486,862	4.0	41,528,945	3.5	38,771,347	3.4
		診療材料費、医療消耗備品費等	66,204,044	5.5	64,291,106	5.4	59,502,082	5.2
	減価償却費	65,331,183	5.4	69,156,333	5.8	72,035,141	6.3	
	資産減耗費	1,744,900	0.1	490,998	0.0	1,649,958	0.2	
	経費等	委託料	105,157,655	8.8	105,264,983	8.8	88,360,400	7.8
		その他	74,495,199	6.2	66,063,840	5.5	61,409,636	5.4
	計	1,127,122,861	94.0	1,137,342,592	95.2	1,080,771,728	95.0	
医業損益		△ 120,174,618	—	△ 219,174,299	—	△ 238,550,537	—	
医業外収益	受取利息及び配当金	70,163	0.0	102,876	0.0	280,316	0.0	
	他会計補助金	92,151,281	7.7	89,886,416	7.9	97,356,766	9.2	
	負担金交付金	45,763,433	3.8	68,677,561	6.0	53,570,107	5.1	
	その他	31,524,587	2.6	33,916,399	3.0	34,500,423	3.3	
	計	169,509,464	14.1	192,583,252	16.9	185,707,612	17.6	
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	10,941,637	0.9	13,134,457	1.1	15,228,721	1.3	
	その他	27,287,079	2.3	24,090,057	2.0	22,399,430	2.0	
	計	38,228,716	3.2	37,224,514	3.1	37,628,151	3.3	
医業外損益		131,280,748	—	155,358,738	—	148,079,461	—	
訪問看護収益	訪問看護ステーション収益	24,422,707	2.0	23,527,838	2.1	23,800,441	2.3	
	その他	0	0	1,200,005	0.1	1,238,894	0.1	
	計	24,422,707	2.0	24,727,843	2.2	25,039,335	2.4	
訪問看護費用	給与費	32,689,801	2.7	19,165,283	1.6	18,923,195	1.6	
	経費	1,193,253	0.1	980,309	0.1	910,209	0.1	
	計	33,883,054	2.8	20,145,592	1.7	19,833,404	1.7	
訪問看護ステーション損益		△ 9,460,347	—	4,582,251	—	5,205,931	—	
特別	利益	0	0	0	0	0	0	
	損失	0	0	0	0	0	0	
特別損益		0	—	0	—	0	—	
純損益		1,645,783	—	△ 59,233,310	—	△ 85,265,145	—	

病院事業会計予算決算対照表

別表2

1. 収益的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

(消費税込み) (単位:円、△印減、%)

科目	区分		対予算比較	執行率	構成比	科目	区分		地方公営企業法第26条第2項繰越額	不用額	執行率	構成比
	予算額	決算額					予算額	決算額				
1 医業収益	979,515,000	1,008,900,950	29,385,950	103.0	83.9	1 医業費用	1,153,073,000	1,147,208,968	0	5,864,032	99.5	95.5
(1) 入院収益	819,097,000	841,194,729	22,097,729	102.7	69.9	(1) 給与費	769,027,000	767,347,402	0	1,679,598	99.8	63.9
(2) 外来収益	137,685,000	141,339,941	3,654,941	102.7	11.8	(2) 材料費	119,173,000	119,170,709	0	2,291	100.0	9.9
(3) その他医業収益	22,733,000	26,366,280	3,633,280	116.0	2.2	(3) 経費	194,624,000	191,586,184	0	3,037,816	98.4	16.0
						(4) 減価償却費	65,334,000	65,331,183	0	2,817	100.0	5.4
2 医業外収益	167,844,000	169,333,421	1,489,421	100.9	14.1	(5) 資産減耗費	1,795,000	1,744,900	0	50,100	97.2	0.1
(1) 受取利息及び配当金	75,000	70,163	△ 4,837	93.6	0.0	(6) 研究研修費	3,120,000	2,028,590	0	1,091,410	65.0	0.2
(2) 他会計補助金	92,151,000	92,151,281	281	100.0	7.7	2 医業外費用	21,229,000	19,699,676	0	1,529,324	92.8	1.6
(3) 負担金交付金	44,638,000	45,763,433	1,125,433	102.5	3.8	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	11,132,000	10,941,637	0	190,363	98.3	0.9
(4) 患者外給食収益	1,000	0	△ 1,000	0	0	(2) 患者外給食材料費	45,000	44,064	0	936	97.9	0.0
(5) 長期前受金戻入	27,071,000	27,071,223	223	100.0	2.2	(3) 消費税	1,369,000	5,189,773	0	△ 3,820,773	379.1	0.4
(6) その他医業外収益	3,908,000	4,277,321	369,321	109.5	0.4	(4) 雑損失	2,000	0	0	2,000	0	0
(7) 雑収益	0	0	0	-	0	(5) 雑支出	8,681,000	3,524,202	0	5,156,798	40.6	0.3
3 特別利益	2,000	0	△ 2,000	0	0	3 特別損失	502,000	0	0	502,000	0	0
(1) 固定資産売却収益	1,000	0	△ 1,000	0	0	(1) 固定資産売却損	1,000	0	0	1,000	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	0	0	-	0	(2) 過年度損益修正損	500,000	0	0	500,000	0	0
(3) その他特別利益	1,000	0	△ 1,000	0	0	(3) その他特別損失	1,000	0	0	1,000	0	0
4 訪問看護ステーション収益	24,394,000	24,510,850	116,850	100.5	2.0	4 訪問看護ステーション費用	35,903,000	33,998,547	0	1,904,453	94.7	2.8
(1) 訪問看護収益	24,394,000	24,510,850	116,850	100.5	2.0	(1) 給与費	33,917,000	32,721,349	0	1,195,651	96.5	2.7
						(2) 経費	1,986,000	1,277,198	0	708,802	64.3	0.1
						5 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0
計	1,171,755,000	1,202,745,221	30,990,221	102.6	100.0	計	1,211,707,000	1,200,907,191	0	10,799,809	99.1	100.0

2. 資本的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

科目	区分		対予算比較	執行率	構成比	科目	区分		地方公営企業法第26条繰越額	不用額	執行率	構成比
	予算額	決算額					予算額	決算額				
1 資本的収入	98,715,000	98,714,111	△ 889	100.0	100.0	1 資本的支出	127,635,000	124,633,342	0	3,001,658	97.6	100.0
(1) 企業債	27,700,000	27,700,000	0	100.0	28.1	(1) 建設改良費	59,917,000	56,915,568	0	3,001,432	95.0	45.7
(2) 他会計補助金	71,014,000	71,014,111	111	100.0	71.9	(2) 企業債償還金	67,718,000	67,717,774	0	226	100.0	54.3
(3) 固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0	0							

損益計算書前年度比較表

別表3

(消費税抜き) (単位:円、%)

科目	区分	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
		金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比
(病院事業収益)		1,200,880,414	100.0	105.8	1,135,479,388	100.0	107.8	1,052,968,138	100.0	96.9
医療業収益		1,006,948,243	83.9	109.7	918,168,293	80.9	109.0	842,221,191	80.0	91.1
入院収益		841,186,919	70.0	111.2	756,459,941	66.6	111.3	679,772,196	64.6	92.0
外来収益		141,347,751	11.8	101.1	139,838,827	12.3	99.2	140,982,456	13.4	88.3
その他医療収益		24,413,573	2.0	111.6	21,869,525	2.0	101.9	21,466,539	2.0	84.6
医療外収益		169,509,464	14.1	88.0	192,583,252	16.9	103.7	185,707,612	17.6	127.4
受取利息配当金		70,163	0.0	68.2	102,876	0.0	36.7	280,316	0.0	79.8
他会計補助金		92,151,281	7.7	102.5	89,886,416	7.9	92.3	97,356,766	9.2	163.7
負担金交付金		45,763,433	3.8	66.6	68,677,561	6.0	128.2	53,570,107	5.1	104.5
患者外給食収益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
長期前受金戻入		27,071,223	2.3	90.4	29,961,234	2.6	98.6	30,389,746	2.9	100.9
その他医療外収益		3,608,644	0.3	107.7	3,349,362	0.3	92.9	3,605,430	0.3	90.1
雑収益		844,720	0.1	139.4	605,803	0.1	119.9	505,247	0.1	88.2
訪問看護ステーション収益		24,422,707	2.0	98.8	24,727,843	2.2	98.8	25,039,335	2.4	146.7
訪問看護収益		24,422,707	2.0	98.8	24,727,843	2.2	98.8	25,039,335	2.4	146.7
特別利益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
特別利益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
(病院事業費用)		1,199,234,631	100.0	100.4	1,194,712,698	100.0	105.0	1,138,233,283	100.0	95.1
医療費用		1,127,122,861	94.0	99.1	1,137,342,592	95.2	105.2	1,080,771,728	95.0	95.3
給与費		766,703,018	63.9	97.0	790,546,387	66.2	104.2	759,043,164	66.7	95.5
材料費		113,690,906	9.5	107.4	105,820,051	8.9	107.7	98,273,429	8.6	96.8
経費		177,789,842	14.8	104.8	169,648,387	14.2	114.5	148,169,000	13.0	93.9
減価償却費		65,331,183	5.4	94.5	69,156,333	5.8	96.0	72,035,141	6.3	93.1
資産減耗費		1,744,900	0.1	355.4	490,998	0.0	29.8	1,649,958	0.2	259.1
研究研修費		1,863,012	0.2	110.9	1,680,436	0.1	105.0	1,601,036	0.2	83.4
医療外費用		38,228,716	3.2	102.7	37,224,514	3.1	98.9	37,628,151	3.3	94.9
支払利息及び企業債取扱諸費		10,941,637	0.9	83.3	13,134,457	1.1	86.2	15,228,721	1.3	88.8
患者外給食材料費		40,800	0.0	121.4	33,600	0.0	76.4	44,000	0.0	105.8
消費税及び地方消費税		0	0	—	0	0	—	0	0	—
雑損失		0	0	—	0	0	皆減	36,390	0.0	皆増
雑支出		27,246,279	2.3	113.3	24,056,457	2.0	107.8	22,319,040	2.0	99.3
訪問看護ステーション費用		33,883,054	2.8	168.2	20,145,592	1.7	101.6	19,833,404	1.7	84.8
給与費		32,689,801	2.7	170.6	19,165,283	1.6	101.3	18,923,195	1.6	84.4
経費		1,193,253	0.1	121.7	980,309	0.1	107.7	910,209	0.1	94.5
特別損失		0	0	—	0	0	—	0	0	—
特別損失		0	0	—	0	0	—	0	0	—
(当年度純利益)		1,645,783		2.8	△ 59,233,310		△ 69.5	△ 85,265,145		△ 77.3
前年度繰越利益剰余金		△ 1,059,790,552		△ 105.9	△ 1,000,557,242		△ 109.3	△ 915,292,097		△ 113.7
その他未処分利益剰余金変動額		0		—	0		—	0		—
当年度未処分利益剰余金		△ 1,058,144,769		△ 99.8	△ 1,059,790,552		△ 105.9	△ 1,000,557,242		△ 109.3

別表5

◎総収支比率

$$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$$

※

総収益と総費用を比較したもので、率が高いほどよいことを示す数値

区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
比率	100.1%	95.0%	92.5%

◎医業収支比率

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

※

医業のみの収支を比較したもので、率が高いほどよいことを示す数値

区分	平成30年度	平成29年度	平成28年度
比率	89.3%	80.7%	77.9%

<キャッシュ・フロー計算書の読み方の例>

	業務活動	投資活動	財務活動	適用
パターン1	+	- (△)	- (△)	本業の業績は概ね好調であり、その資金を投資活動等に充てている状態。比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン2	+	- (△)	+	本業の業績は概ね好調であるが、投資活動の資金を借入に依存している状態で、今後の返済負担が想定される。
パターン3	- (△)	+	- (△)	本業の業績が厳しく、投資活動等を抑制し、借入金の返済を行っている状態。
パターン4	+	+	- (△)	現在の事業でまだ稼げているが、財務体質改善等を行うことで、現状を変革しようとしている状態。